

令和5年度 亀山市廃棄物減量等推進員(ごみダイエットサポーター)活動報告

令和5年5月24日(水)午前10:00～

第1回ごみダイエットサポーター会議を開催しました。

令和5年度第1回目の会議を開催しました。

食品ロス削減マッチングサービス「タベスケ」や消滅型生ごみ処理容器「キエーロ」の普及方法、イベント時のごみ減量などについて話し合いました。特に、令和4年度に試作品等を作成したキエーロについて、今後普及させるためには、どうしていくのがよいか、熱心に話し合いが行われました。



(第1回ごみダイエットサポーター会議の様子)



(キエーロ試作品作成時の様子(令和4年度))

令和5年8月30日(水)午前10:00～

第2回ごみダイエットサポーター会議を開催しました。

令和5年度、第2回目の会議を開催しました。

第1回目の会議以降、キエーロの普及について、有志のサポーターが商工会議所へ質問を行った件や、市で行っている環境未来創造会議の部会のひとつである「循環部会」の内容などについて、市から説明を受けた後に、話し合いを行いました。

また、3月にごみ減量について、広報かめやまやマイタウンかめやまで啓発を行うことから、どのような内容にするかについても話をしました。



(第2回ごみダイエットサポーター会議の様子)

令和6年1月25日(木)午前9:30～

第3回ごみダイエットサポーター会議は中止となりました。

令和5年度、第3回目の会議を予定していましたが、大雪の予報となったため、中止しました。

サポーターそれぞれが、ごみ減量についての情報を集めていることから、来年度の会議にて、今年度のように様々なご意見を出し合っていたいただきたいと思います。

令和6年3月1日(金)

広報かめやま 3月1日号に、ごみ減量体験談を掲載しました。

広報かめやまにごみダイエットサポーターが行っている、ごみを減らすための取組を掲載しました。
市民の皆さんも簡単に取り組んでいただけるものもあるので、ぜひ読んでいただければと思います。

【広報かめやま 3月1日号 4ページより】

ごみダイエットサポーターの皆さんもごみを減らす取り組みを実践しています

ごみダイエットサポーターとは

市から委嘱されている「ごみ減量等推進委員」のことで、年に2～3回、ごみ減量やリサイクルについて、意見交換を行っています。

雑がみは「可燃系資源ごみ」としてリサイクル(再資源化)！



ごみダイエットサポーター
中野 滋 さん

皆さんは、食品の箱やトイレ用紙の芯、コピー用紙などは、「可燃系資源ごみ」に出すとリサイクルされることをご存じですか？

雑がみは、一般ごみに入れて捨てると、溶融炉で処理する際にエネルギーが必要となりますが、「可燃系資源ごみ」として出すと、リサイクルされるとともに燃料も削減されます。

ごみ箱の近くに紙袋を置いておくのと集めやすいので、ぜひ試してみてください。

雑がみの分別やごみの出し方などについて分からない場合は、廃棄物対策グループへお問い合わせください。自治会やグループで集まって、「かめやま出前トーク」を活用することもできます。みんなで楽しく、ごみの減量やリサイクルに取り組んでみましょう！



衣類などの不要品の譲渡会を利用して、環境にやさしい生活を！

ごみダイエットサポーターとして活動する中で、自分ができる範囲で、ごみの減量につながる取り組みを行うことの大切さを学んできました。

現在は、その経験を生かして、不要になった物をごみとせず、必要としている人へお渡しする無償譲渡会の活動に自分自身も関わっています。

新しい品物を買わず、「まだ着られる服や履ける靴」、「壊れていないおもちゃ・本」、「サイズが合わなくなった子ども用品」などをリユース(再利用)することは、ごみの削減や環境への負荷を抑えることにつながります。みんなで環境にやさしい生活を送りましょう！

【無償譲渡会「どうぞの会」の開催予定】

と き 3月10日(日) 午前11時30分～午後1時

ところ 総合保健福祉センター「あいあい」

問合先 地球を守ろう亀山(☎ kameyama.earth@gmail.com、☎080-4110-5414)



ごみダイエットサポーター
長谷川 絢香 さん



令和4年度 亀山市廃棄物減量等推進員(ごみダイエットサポーター)活動報告

令和4年4月18日(月)10:00～・4月27日(水)19:00～

第1回ごみダイエットサポーター会議を開催しました。

令和4年度第1回目の会議を開催しました。

令和3年度の活動報告や今後の活動について、様々な意見が出されました。キエーロの普及やごみ拾い SNS ピリカなどの活用について話をしました。

今後も交流を深めていただき、様々なご意見をいただきたいと思います。



令和4年5月10日(火)10:00～

市内ごみ拾い活動をしました。(和田町)

亀山市和田町の和田ふれあい公園周辺で、ごみダイエットサポーター3名と自治会・老人会のみなさんとごみ拾い活動を行いました。周辺には空き缶、食べ物の袋、マスクなどポイ捨てされたごみがたくさん捨てられており、回収量は160kgにもなりました。



令和4年6月28日(火)10:00～

市内ごみ拾い活動をしました。(西野公園周辺)

西野公園周辺で、ごみダイエットサポーター2名と市民の方にご参加いただき、ごみ拾い活動を行いました。亀山バイパス側道沿いには、車から投げ捨てられたような袋に入ったごみが周辺にたくさん捨てられていました。1時間程度で10kgのごみを回収しました。



令和4年7月4日（月）9:30～

生ごみ処理容器「キエーロ」試作品作り

ごみ減量化推進の取り組みとして、生ごみ処理容器「キエーロ」を作成しました。キエーロは土の中にいる微生物の力を利用して、生ごみを分解し、消滅させる生ごみ消滅容器です。

キエーロ作成用キットの木材を使い、作り方を見ながらドライバーで組み立てていき、1時間程度であっという間にふた付のキエーロが完成しました。

また、実際に環境センターにて試験的に行っているキエーロの投入状況などを観察し、使用方法などを学びました。作成したキエーロはモニターを募集し、使用していただいています。



令和4年8月23日（火）9:30～

里山塾 2022 特別講座「キエーロを作ろう！」開催

亀山市総合環境センターにて、里山塾 2022 の塾生を対象に、特別講座として「キエーロを作ろう！」を開催しました。当日は、2組の親子に参加いただき、施設の見学後、キエーロについて概要を説明し、サポーターのみなさんも参加者と一緒にキエーロ作りを行いました。

また実際にキエーロを使用されているサポーターさんより、キエーロを使用された実体験もお話いただきました。出来上がったキエーロは、参加者にモニターとして観察記録をつけて使用いただいた後、アンケートを提出していただきました。



令和4年10月1日

**亀山市廃棄物減量等推進員（ごみダイエットサポーター）
を委嘱しました。**

現在の亀山市廃棄物減量等推進員のサポーターの任期は
2年間で、令和4年9月30日までとなっています。

10月1日から引き続き9名の方にご就任いただき、
委嘱を行いました。（男性3名、女性6名）

これからまた2年間、ごみ減量のために出来ることを話し合い、
意見交換を行いながら、活動していただきます。



令和4年11月9日（水）10:00～

第2回ごみダイエットサポーター会議を開催しました。

令和4年度、第2回目の会議を開催しました。

令和3年度の亀山市総合環境センターの廃棄物処理状況や

10月よりサービスを開始しました食品ロス削減マッチング
サービス「かめやまタバスケ」の利用状況等について報告をし、
課題などを話し合いました。



令和5年1月24日（火）13:30～

株式会社エフピコ 中部リサイクルセンターを見学しました。

トレー・ペットボトルを回収・リサイクルし、食品容器製造を行っている株式会社エフピコ 中部リサイクルセンター（岐阜県輪之内町）の工場見学に行きました。（サポーター参加者数 6名）

当日は、担当者様より、会社概要やリサイクルの方法などについて説明いただきました。
そのあと、実際に工場を見学させていただき、リサイクルされる工程成型方法などを学びました。回収されたトレーや透明容器、ペットボトルが再生原料にもどり、再びトレーとして生まれ変わる様子を見る事ができました。



令和5年3月6日（月）10:00～

市内ごみ拾い活動をしました。（辺法寺町）

亀山市辺法寺町の県道沿いで、ごみダイエットサポーター5名が参加し、ごみ拾い活動を行いました。道路沿いや草むらには、空き缶や飲みかけのペットボトル、たばこの吸い殻などポイ捨てされたごみがたくさん捨てられていて、回収量は70kgにもなりました。ポイ捨てのない、きれいなまちづくりを目指していきましょう。



令和3年度 亀山市廃棄物減量等推進員(ごみダイエットサポーター)活動報告

令和3年4月23日

教育民生委員会意見交換会に参加しました。

亀山市議会教育民生委員会で、「ごみの減量化」をテーマにした意見交換会にサポーター8名が参加をし、委員のみなさんにごみの排出の現状や、ごみの減量化に係る課題・問題点や必要な取り組みについて話し合いました。



令和3年11月17日(水)10:00～・11月19日(金)13:30～・11月22日(月)18:00～

第1回ごみダイエットサポーター会議を開催しました。

コロナ禍もあり、3回にわけて、会議を開催しました。

初めに令和2年度の総合環境センターの廃棄物処理状況を報告しました。その後自分の地域のごみの状況や取り組み、また今後の活動について様々な意見が出されました。

今後も交流を深めていただき、様々なご意見をいただきたいと思います。



令和4年3月1日

広報かめやま3月1日号にて、ごみダイエットサポーターの活動について掲載しました。

広報かめやままで、ごみダイエットサポーターの活動や、ごみ減量のための取り組みについて紹介しました。ごみダイエットサポーター長谷川さん、伊藤さんのサポーターさんのおもいが掲載されています。

ごみダイエットサポーターの活動

平成28年11月から、ごみの減量やリサイクルに関する意見交換、啓発活動に取り組んでいます。現在、12人(男性4人、女性8人)が活動しています。



これまでの活動内容

・食の祭典での啓発活動(平成30年度、令和元年度)



多くの市民と交流し、水切りネットを配布するなど啓発活動を行いました。

・食品廃棄物組成分析調査見学(令和2年度)



一般ごみに食品ロスがどれくらい含まれているかを調査する様子を見学しました。

・行政情報番組への出演(令和2年度)



食品廃棄物分析調査結果の感想や、日ごろの食品ロス削減の取り組みを紹介しました。

・市議会教育民生委員会との意見交換会(令和3年度)



市民のごみ排出の現状、ごみ減量化に係る課題や問題点と必要な取り組みについて、活発に意見交換を行いました。

サポーターのおもい



長谷川さん

ごみについて考えることは、意識の高さに関係なく、知るきっかけがあるかどうかだと思います。ごみと私たちの生活は密接に関係しており、各地域でさまざまなごみの問題があると思います。根本的に解決できるよう原因に目を向けて、市民一人ひとりが心地よく暮らせるお手伝いができたらと思っています。



伊藤さん

私たちの暮らしは、便利で豊かになっている一方、さまざまな環境問題が起きています。ごみを減らすことは、地球の未来を守っていくことにつながっています。ごみ減量について、市民一人ひとりの心掛けや行動がとても大切です。普段の生活の中で、少しごみ減量について意識を向けてみましょう。

令和4年3月4日（金）～3月10日（木）

ZTV「マイタウンかめやま」にて、ごみダイエットサポーターのごみの減量の取り組みについて紹介しました。

ZTV「マイタウンかめやま」の情報BOXにて、ごみダイエットサポーターの活動の紹介などを行いました。ごみダイエットサポーターの長谷川さんと伊藤さんが、自身が取り組んでいるごみ減量のための取組の紹介やごみ減量へのおもいなどをお話いただきました。



※取組内容の詳細は、広報かめやま3月1日号のとおり。

令和4年3月14日（月）

里山公園周辺にて、ごみ拾い活動を行いました。

ごみダイエットサポーター4名、市職員4名、他4名計12名が参加をし、里山公園周辺側道沿いのごみ拾いを行いました。特に栄町交差点の周辺には、ペットボトルや空き缶、タバコなどたくさんのゴミが捨てられており、1時間で50kgのゴミを回収することができました。

暖かい日で、ウォーキングをしながら、季節の変化も楽しみながら、コロナ禍で鬱々した心もリフレッシュできたように感じました。

ウォーキングしながら、楽しみながらごみ拾い、まちもきれいになり、心も身体も健康になる…こんながみ拾い活動を定期的に行っていきたいと思います。



令和2年度 亀山市廃棄物減量等推進員(ごみダイエットサポーター)活動報告

令和2年10月1日

亀山市廃棄物減量等推進員(ごみダイエットサポーター)を委嘱しました。

新たなサポーターも増え、よりにぎやかになりました!

これから、たくさん意見交換していただき、一緒に活動していきたいと思います。

(サポーター数:13名(男性5名、女性8名))

令和2年11月10日(火)18:00～、11日(木)10:00～

ごみダイエットサポーター会議を開催しました。

委嘱後、初めての会議を開催しました。

新しいサポーターの皆さんが行っている活動を教えていただいたり、今後の活動について様々な意見が出されたりしました。

今後も交流を深めていただき、様々なご意見をいただきたいと思います。

令和2年12月3日(木)10:00～

食品廃棄物組成分析調査を見学しました。

総合環境センターにて行われた食品廃棄物組成分析調査(調査日3日～4日)を、ごみダイエットサポーター10名(男性3名、女性7名)が見学しました。

サポーターは、ごみ集積所から収集した一般ごみに食品ロスがどれほど含まれているかを調査する様子を見学し、一般家庭から未開封の食材などが多く捨てられていることに驚いている様子でした。

※詳しい調査結果は、「亀山市 食品廃棄物 調査」で検索し、ご覧ください。

<https://www.city.kameyama.mie.jp/docs/2019102300015/>



※環境省が作成した手順書等に従って調査しています。また、プライバシーを侵害しないよう注意しています。

ごみダイエットサポーター 感想

K・Cさん(70代女性)

値引きシールが貼られている未開封の商品があり、かえって高くついているのではないかと感じた。自分が食品を買う際は気を付けなければと身が引き締まる思いがした。

K・Aさん(40代女性)

まだ食べられるものが多く捨てられており、市民の皆さんにも見ていただきたいと思った。伝え方を工夫することで、食品ロス等のごみを減らすことは、自分たちや未来の財産を守ることににつながることを伝えたい。

N・Sさん(70代男性)

賞味期限切れによる廃棄物の多さを強く訴えたい。食品を購入する前に、冷蔵庫の中を空にするくらいしっかりと賞味期限や消費期限を確認する日をつくるなどの工夫が必要だと思う。

令和3年3月1日

広報かめやま3月1日号にて、食品ロスを減らすための工夫などを掲載しました。

広報かめやまの食品ロス削減に関する記事で、サポーターの長谷川さんと服部さんが日頃行っている食品ロスを出さないための工夫などについて紹介しました。

🍴 私たちにできることはなんだろう? 🍴

ごみダイエットサポーターが食品ロスを減らすために日ごろ行っていることや、食品廃棄物組成分析調査結果の感想などを紹介します!



ごみダイエット
サポーター
長谷川さん

買い物前はもちろん、普段から冷蔵庫や食品置場の整理とチェックで買い過ぎを防止しています!

今回、食品廃棄物組成分析調査の結果を見て、まだ食べられる食品がたくさん捨てられていることに心が痛みました。そのような未利用食品の活用方法を調べていると、亀山市に食品を寄付することができる団体(亀山みんなの食堂)があることを知りました。期限内に食べきれないときは、活用してみたいと思います。

亀山みんなの食堂

☎ 080-6813-4088 (午後6時~10時)

✉ minnanosyokudo@gmail.com



ごみダイエット
サポーター
服部さん

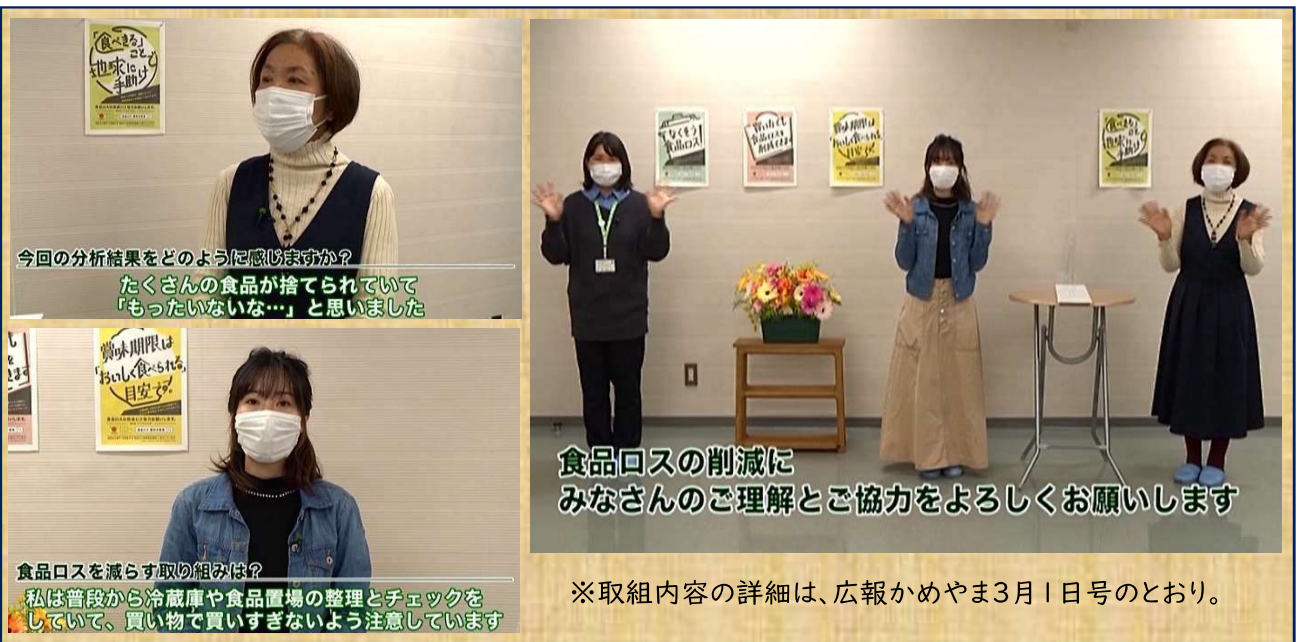
今回の食品廃棄物組成分析調査の結果を知り、たくさんの食品が捨てられていることにショックを受けました。廃棄物の中には旬の野菜などもたくさん見つかり、作り手の気持ちを考えると、非常に残念に思います。旬の野菜や果物はおいしく、栄養価も高いので、捨ててしまうのはもったいないです!

食品ロスは、保存方法を工夫すれば、減らすことができます!例えば、賞味期限が近づいて風味が落ちてしまった食パンは、冷凍後おろし金で削ると、パン粉として使用することができます。家にたくさんあると思った食品は、消費・保存する方法を早め早めに考えてみてください。

令和3年3月26日(金)~4月1日(木)

ZTV「マイタウンかめやま」にて、食品ロス削減の啓発を行いました。

ZTV「マイタウンかめやま」の情報BOXにて、食品ロス削減啓発に係る番組が放送され、その中で、ごみダイエットサポーターの長谷川さんと服部さんが、食品廃棄物組成分析調査の結果の感想や、自身が取り組んでいる食品ロス削減のための取組を紹介しました。



※取組内容の詳細は、広報かめやま3月1日号のとおり。

令和元年度 亀山市廃棄物減量等推進員(ごみダイエットサポーター)活動報告

令和元年 6月17日(月) 18:00～、20日(木) 13:30～

第1回ごみダイエットサポーター会議を開催しました。

会議は、多くのサポーターに参加いただけるよう、2回に分けて開催しました。

今回は、昨年度1年間の亀山市のごみの処理状況等をお話し、今後、サポーターの皆さんに、ごみの減量について啓発いただく時期や方法(広報、イベント等)を具体的にお伝えしました。

今年度も、ごみの減量に向けて、ご協力いただきます。

令和元年 8月1日(木)

広報かめやま 8月1日号に、ごみ減量体験談を掲載しました。

広報かめやまにごみダイエットサポーターの北崎さんの体験談が掲載されました。

生ごみを減らすため、生ごみ処理容器を活用されています。

“水切り”以外の方法も！

生ごみ処理容器を使って生ごみを減量してみよう！

生ごみ処理容器を使って生ごみを堆肥に変えることで、より生ごみを減量することができます。
できた堆肥を家庭菜園やガーデニングに活用して、生ごみリサイクルに取り組んでみませんか？



◆市では、家庭用生ごみ処理容器購入費の一部を補助しています。

交付対象者 次のいずれにも該当する人

- 市内に住所を有し、容器を購入し、当該容器を市内に設置した人
- 周辺に悪臭等の迷惑がかからないよう維持管理を徹底し、堆肥の活用を図ることができる人
- 市税などに滞納がない人

※ただし、営業用の場合は交付の対象外

交付対象処理容器

- ぼかし ●コンポスト ●手動かくはん式処理容器
- 電機かくはん式処理容器

補助金額 設置に要した額の1/2(上限25,000円)
※100円未満の端数は切り捨て

詳しくは、環境課廃棄物対策グループへお問い合わせください。

ごみは生活の中で必ず出るもの。一人ひとりが減量の意識をもって、みんなでごみを減らそう!!

ごみダイエットサポーター体験談!!

市の補助制度を活用し、生ごみ処理容器を購入されたごみダイエットサポーターの北崎亜紀さんに使用した感想をお聞きました！

北崎さんご夫妻



いつから使っているの？

シーゼン 10年くらい前から、パケツ式の生ごみ処理容器を使用しています。

北崎さん

どうしてパケツ式にしたの？

シーゼン 電気式も使用していましたが、たくさん入れるとうまく分解しませんでした。家の裏に畑があったのでパケツ式を置いてみることにしました。

北崎さん

どうやって活用しているの？

シーゼン 主に野菜や果物の生ごみを入れていきます。卵の殻はうまく分解しますが、鳥や魚の骨は分解しにくいので一般ごみに出しています。

北崎さん

使ってみてどう？

シーゼン パケツ式のコンポストは、生ごみをたくさん入れることができ便利です。夫も活用しています。皆さんも活用してみてくださいませんか？

北崎さん

令和元年 9月1日(日)～

ごみダイエットサポーターが1名増えました。

ごみダイエットサポーターを1名(男性)へ委嘱しました。(追加)

現在のサポーターは女性が多いのですが、男性の立場からのご意見を期待しています。

令和元年 9 月 24 日（火）10：00～、18：00～

第 2 回ごみダイエツトサポーター会議を開催しました。

午前と夜の 2 回に分けて開催しました。

環境関係の計画の改定等に向け、本市が今後取り組むべき環境課題、必要な施策及び実施すべき事業について検討する際の資料を作成するため、意見を出し合いました。

令和元年 10 月 13 日（日）、11 月 4 日（月・祝）

ワークショップに参加しました。

環境課環境創造グループ主催の、環境関連計画の改定等のための第 1 回及び第 2 回ワークショップに参加しました。

温暖化関係、生物・植物関係等、廃棄物関係以外のグループに入り、ごみダイエツトサポーターとしてだけではなく、一市民として様々な内容を話し合いました。

令和元年 11 月 17 日（日）

『食の祭典 市民の集い』でごみ減量のための啓発活動を行いました。

『食の祭典 市民の集い』にて、「食品ロス削減に関するチラシ」と「水切りごみ袋」約 600 セットを配布しました。

このイベントは、出展者も来場者も亀山市民が多く、ごみダイエツトサポーターと知り合いの方がたくさんいらっしゃいました。そのため、ごみ減量についてたくさんお話することができ、良い啓発活動になりました。



令和元年 11 月 29 日（金）～12 月 12 日（木）

ZTV「マイタウンかめやま」にて、食品ロス削減の啓発を行いました。

ZTV「マイタウンかめやま」の情報 BOX にて、食品ロス削減啓発に係る番組が放送され、その中で、ごみダイエツトサポーターの中野滋さんと村居誠祐さんが、自身が行っている食品ロス削減のための取組を紹介しました。



日頃から買い物に行く前に冷蔵庫を良く確認し、無駄な買い物をしないようにしています。



外食をする時、食べ残しを防止するために食べる量を考え注文しています。

令和2年2月17日（月）18:00～、20日（木）10:00～
第3回ごみダイエットサポーター会議を開催しました。

午前と夜の2回に分けて開催しました。

ごみを減量するために、市が検討しているごみの分別方法や施策に対し、市民（排出者や集積所管理者）の立場から貴重なご意見をたくさんいただきました。

これらの意見も参考にし、市民、行政、収集業者、リサイクル業者等それぞれの立場を考えて検討を重ねていきます。



令和2年2月26日（水）

食品残渣のリサイクル業者を見学しました。

ごみダイエットサポーター4名（男性1名、女性3名）も一緒に有限会社三功第一リサイクルセンター（津市久居）にて、食品残渣を堆肥にリサイクルする様子を見学しました。



（有）三功は、亀山市の大手スーパー及びコンビニの売れ残り等も引き取っています。この「食品循環資源の堆肥化事業」は、単独では利益につながりませんが、社会貢献を目的として行っているものです。私たち消費者も、企業のリサイクル活動に任せるだけではなく、食品ロスを減らすよう努める必要があります。

ごみダイエットサポーター 感想

N・Sさん（60代男性）

大型スーパーやコンビニ、学校給食、病院等から出る食品残渣をリサイクルしている様子を見学しました。

そこで、食品残渣のリサイクル（堆肥化）には非常にお金がかかるため、この事業だけを見ると利益はあまりないことを知りました。多くの企業が利益を追求する中、社会貢献を目的として行っていることは本当に素晴らしいと思います。

私たちごみダイエットサポーターも日頃から、冷蔵庫の中の食品の消費期限等に気を付け、食品ロスを少なくすることで、社会貢献をしたいと思います。

M・Mさん（70代女性）

今回の見学は、廃棄した食品廃棄物が幾多の工程を経て、再利用の製品に加工され、消費者の手元に戻ってくる、食品循環資源リサイクル・ループの仕組みを知る大変貴重な機会となりました。現在のリサイクル技術の高度な進歩に敬服するとともに、私自身の食品の無駄を反省いたしました。

今後は、「冷蔵庫にメモ用紙を貼り、購入が必要なものを書き出すことで、余分な食品の購入を避ける」など、工夫を続けることで、自身の生活における食品の無駄を省かなくてはと気を引き締めました。

平成 30 年度 亀山市廃棄物減量等推進員(ごみダイエットサポーター)活動報告

2018 年 10 月 1 日 (月)

亀山市廃棄物減量等推進員(ごみダイエットサポーター)を委嘱しました。

亀山市廃棄物減量等推進員(ごみダイエットサポーター)を、7 名の方へ委嘱しました。

(男性 2 名、女性 5 名)

これから 2 年間、市民のみなさんへ、ごみを減らすことの大切さやごみを減らす方法などを伝えていただきます。

2018 年 11 月 7 日 (水) 18:00～、13 日 (火) 13:30～

第 1 回ごみダイエットサポーター会議を開催しました。

会議は、サポーター全員に参加いただけるよう、2 回に分けて開催しました。

今回は、亀山市のごみの処理状況等についてお話し、今後はサポーターの皆さんに、広報やホームページ等で、ごみの減量について啓発いただくことをお願いしました。

サポーターの皆さんには、様々なご意見をいただき、今後、ごみ減量の大切さを、市民の目線で発信していきます。

2018 年 11 月 18 日 (日)

『食の祭典 市民の集い』でごみ減量のための啓発活動を行いました。

『食の祭典 市民の集い』にて、ごみダイエットサポーターさんと一緒に「食品ロス削減に関するチラシ」と「水切りごみ袋」を配布しました。

食品ロス削減に関するチラシは、協働事業「みんなで減らそう食品ロス」の一環として、かめまるさんと一緒に作成したものです。食品ロスを減らすためにできることを、「家庭編(エコクッキング)」と「外食(宴会)編」の2つの場面に分けて紹介しています。

みなさんも、できることから、食品ロス削減にご協力をお願いします。



2019 年 1 月 23 日 (水)

古紙回収業者を見学しました。

福田三商株式会社本社(名古屋市南区)にて、古紙回収の仕組みなどについて見学しました。

ごみダイエットサポーター 5 名(男性 2 名、女性 3 名)も一緒に見学し、古紙をリサイクルするメリットなどについて教えていただきました。

たくさんお話を聞かせていただきましたが、興味深かったお話をひとつご紹介します。

みなさんは、資源ごみに出す際、新聞と折込チラシを分けていますか？几帳面な方ほど分けて出しているのではないのでしょうか。

担当の方の話によると、「新聞と新聞の折込チラシは、分けなくてよい」そうです。新聞をリサイクル処理する際、折込チラシが入っているという想定で、紙からインクを取り除く薬品が調合されているからだそうです。また、紙の白さや強度を出すため、折込チラシが2～3割混ざっていた方が良いとも言われています。

一方、ダイレクトメール等のチラシについては、新聞の折込チラシとは紙質等が違う場合もありますので、雑誌や本、パンフレットと一緒に出してください。

ごみダイエットサポーター 感想

M・Sさん(60代男性)

会社見学をさせていただき、「古紙とは」、「古紙の再利用とは」、「なぜ古紙のリサイクルが必要か」の基礎知識を学ばせていただきました。

今までは、ペーパー資料での知識で、古紙は「使われた紙」くらいにしか考えていませんでしたが、今回の見学において、古紙利用の拡大が、省資源、省エネルギー、廃棄物の削減等につながり、それが環境保全促進、ひいては地球の緑を守ることになることを理解しました。

今後は、亀山市に住むひとりとして、もう一度古紙リサイクルを考え、ごみの分別回収に努めます。



K・Aさん(40代女性)

古紙リサイクル会社の見学に参加して、古紙のリサイクル後、さまざまな商品になっていく過程を、ショールームの見学から学びました。

亀山市も他市と同様に、ごみの分別について、さまざまな観点から市民や行政も努力していく必要があるように感じました。

